

大学コンソーシアムやまがた
教育連携部会 学生募集共同事業関連会議 記録

日 時 平成21年5月11日(月) 14:00～15:30
場 所 県立保健医療大学4階401会議室
出席者 議長 樋口浩朗(事務局)
久米和興(県立保健医療大学)
巻 久(羽陽学園短期大学) 庄司信也(鶴岡工業高等専門学校)
野村真司(東北芸術工科大学) 先崎洋平(東北公益文科大学)
布宮 拓(県立産業技術短期大学校山形校)
阿部茂夫(県立産業技術短期大学校庄内校)
山下隆夫(県立保健医療大学) 神尾秀行(県立保健医療大学)
渡部浩之(県立保健医療大学) 井上慶次(県立米沢女子短期大学)
福島真司(山形大学) 高橋 淳(山形大学)
遠藤法子(山形短期大学)
横井 博(事務局)

欠席校 放送大学山形学習センター
県立農業大学校

議 題

1 教育連携部会長の挨拶

議長から、教育連携部会長交代について、山形県立保健医療大学久米理事が部会長となった旨紹介があり、次いで久米部会長から挨拶があった。

2. 協議事項

(1) 平成21年度大学等合同説明会の実施について

議長から、今年度は県外3会場において大学等合同説明会が開催される旨説明の後、事務局から、資料1、1-1、1-2、1-3、1-4及び1-5により開催日時、会場及び当日の日程等について説明があり、質疑・意見交換があった後、諮られた結果了承された。

質疑・意見交換では、概ね次のような意見が出された。

- ・3会場の日程は、各加盟機関とどのような調整が行われて決定したのか。(県立米沢女子短期大学)
- ・各加盟機関との日程調整は行わず、開催される各県の高校の行事及び各会場の確保を優先して日程を決定した。(事務局)
- ・日程が大学の行事と重なり、教職員の参加が難しい場合、資料参加は可能なのか。(県

立米沢女子短期大学)

- ・資料参加は可能であり、その場合は事前に事務局まで資料一式を送付又は持参願いたい。(事務局)

関連して、事務局から、資料 1 により生徒への開催案内方法について、業界誌（リクルート）による広報と日経新聞折り込み紙による広報のどちらかを実施したい旨提案があった。次いで、福島教授から追加説明があり、質疑・意見交換の後、日経新聞折り込み紙による広報を実施することとなった。

また、山形短期大学から山形県内大学等の合同説明会であることを強調して、分かりやすい記事にしてほしい旨、要望が出された。

質疑・意見交換では、概ね次のような意見が出された。

- ・日経新聞は、仙台開催の掲載が間に合わず、福島、秋田のみの広報となるので、3 会場カバーできるリクルート誌のほうがよいのではないか。(東北公益文科大学)
- ・リクルート誌、日経新聞ともに効果があるとは思えず、どちらも掲載しなくともよいのではないか。(東北芸術工科大学)
- ・リクルート誌は、各大学によって既に掲載している場合があり、どちらかといえば日経新聞のほうがダイレクトメールの効果もあるのでよい。(山形短期大学等)

(2) 平成 21 年度出張大学等合同説明会の実施について

議長及び事務局から、資料 2 により、これまでの高校宛のアンケート用紙では、出張する加盟機関を指名する項目があり、指名された大学等のみが高校で説明会を行う形態となっていたが、今年度からは、コンソーシアム全体で行う出張合同説明会としていく必要があることから、指名する項目を削除し、なるべく全加盟機関が説明会を行うようにアンケート用紙を変更している旨説明があり、了承された。

(3) 今後の学生募集共同事業の取り組み方について

今後の学生募集共同事業の取り組み方について、質疑・意見交換が行われた。

質疑・意見交換では、概ね次のような意見が出された。

- ・保護者特に母親を対象としたセミナーを開催してはどうか。また、このようなセミナーは、高校生の山形県内進学を目的として大学コンソーシアムやまがたで実施することで効果がある。(東北芸術工科大学)
- ・近年、東北 6 県において、各県にコンソーシアム団体が発足されてきた。他県のコンソーシアム団体と共同で合同説明会を行ってみてはどうか。(事務局)

(4) その他

なし。

配付資料

資料	出席者名簿
資料 1	大学等合同説明会開催概要
資料 1 - 1	大学等合同説明会仙台会場
資料 1 - 2	大学等合同説明会福島会場
資料 1 - 3	大学等合同説明会秋田会場
資料 1 - 4	各会場共通事項
資料 1 - 5	各会場への出席者数、持ち込み物品一覧
資料 2	山形県内大学等合同説明会について（依頼）